



JNLA 000142JP



総数 2頁の 1頁

品質試験報告書

試験番号 JNLA2010K0099

発行日 平成22年 9月17日

財団法人 日本紡績検査協会

近畿事業所

役職名 事業所長 氏名 吉田 泰教
大阪市中央区上町1-18-15

〔依頼者〕 KBセーレン 株式会社 殿

〔所在地〕 大阪市北区梅田3-3-10
梅田ダイビル15F

〔受付日〕 平成22年 9月10日

〔依頼試料〕

No. 品種、品名及び品番 1点
1. KS230 (7P1862Z)

〔特徴、状態〕

特になし

〔サンプリング〕

依頼者によるサンプリング

〔試験項目〕

抗菌性試験 (制菌加工)

〔試験方法 及び 条件〕

JIS L 1902 繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果

10. 1項 定量試験 菌液吸収法による

〔試験菌株〕

黄色ぶどう球菌 *Staphylococcus aureus* ATCC 6538P

肺炎桿菌 *Klebsiella pneumoniae* NBRC 13277

〔生菌数の測定方法〕 混釈平板培養法

〔特記事項〕

洗濯方法は JIS L 0217 103号 の試験方法による。

(洗剤はJAFET標準洗剤を使用)

試験は依頼者指定面で行った。

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。
本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。
事業所公印の無い報告書は弊会の責任を負いかねます。

〔試験結果〕

| 黄色ぶどう球菌 | | 生 菌 数 | 常用対数値 [M] |
|------------------|-------|------------------------|-----------|
| 接種菌濃度 (個/ml) | | 1.1×10^5 | ————— |
| 標準布の試験菌接種直後 [Ma] | | 2.2×10^4 | 4.3 |
| 標準布の18時間培養後 [Mb] | | 8.1×10^6 | 6.9 |
| 増殖値 [F] | | 2.6 | |
| 試 料 | | 抗菌加工試料の18時間後常用対数値 [Mc] | 殺菌活性値 [L] |
| KS230 (7P1862Z) | 洗濯0回 | 1.3以下 | 3.0以上 |
| " | 洗濯10回 | 1.6 | 2.7 |

| 肺炎桿菌 | | 生 菌 数 | 常用対数値 [M] |
|------------------|-------|------------------------|-----------|
| 接種菌濃度 (個/ml) | | 1.1×10^5 | ————— |
| 標準布の試験菌接種直後 [Ma] | | 2.2×10^4 | 4.3 |
| 標準布の18時間培養後 [Mb] | | 2.3×10^7 | 7.4 |
| 増殖値 [F] | | 3.1 | |
| 試 料 | | 抗菌加工試料の18時間後常用対数値 [Mc] | 殺菌活性値 [L] |
| KS230 (7P1862Z) | 洗濯0回 | 1.3以下 | 3.0以上 |
| " | 洗濯10回 | 1.8 | 2.5 |

〔試験成立〕

$$F = M_b - M_a \geq 1.0$$

〔殺菌活性値の計算〕

$$L = M_a - M_c$$

〔試験室温度〕 24℃ (関係湿度) 40%

〔試験実施日〕 平成22年 9月17日

〔試験実施場所〕 シティラボ本町 大阪市中央区瓦町2丁目3番2号第一住建瓦町ビル6F

〔備考〕 JIS L 1902 において抗菌効果は下記の通り定められている。

「繊維製品の抗菌効果は、菌液吸収法により試験したとき、制菌加工においては、殺菌活性値が0以上とする。」

〔提出試料〕

F JSIF JSIF JSIF JSI

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。
 本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。
 事業所公印の無い報告書は弊会の責任を負いかねます。